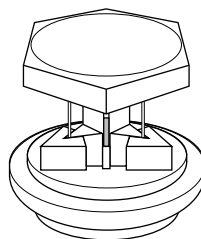


石膏ボード壁専用プッシュピン 使用・取付け説明書

型番
『OP-PIN4』



プッシュピン1個が付属しています。

この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



警告



本説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



取付ける壁の石膏ボードを事前に確認してください。経年劣化等で取付けが困難な場合は中止してください。



一度設置した壁側の穴を再利用しての再設置は避けてください。取付け強度が極端に低下している場合があります危険です。



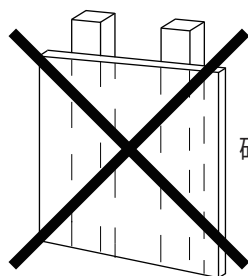
次の場所には、設置をしないでください。

- コンクリート、木材のようなアクリルパネルが設置できない突起のある壁、天井
- 石膏ボード内部に間柱や下地の設置がある箇所
- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など

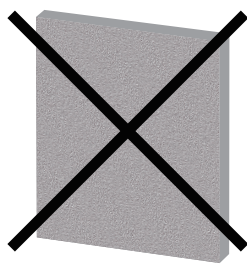


本商品は石膏ボード壁専用です。必ず取り付ける壁が石膏ボードかご確認ください。

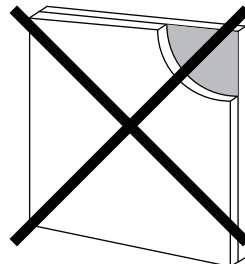
プッシュピンが使用できない壁



硬質石膏ボード



コンクリート壁



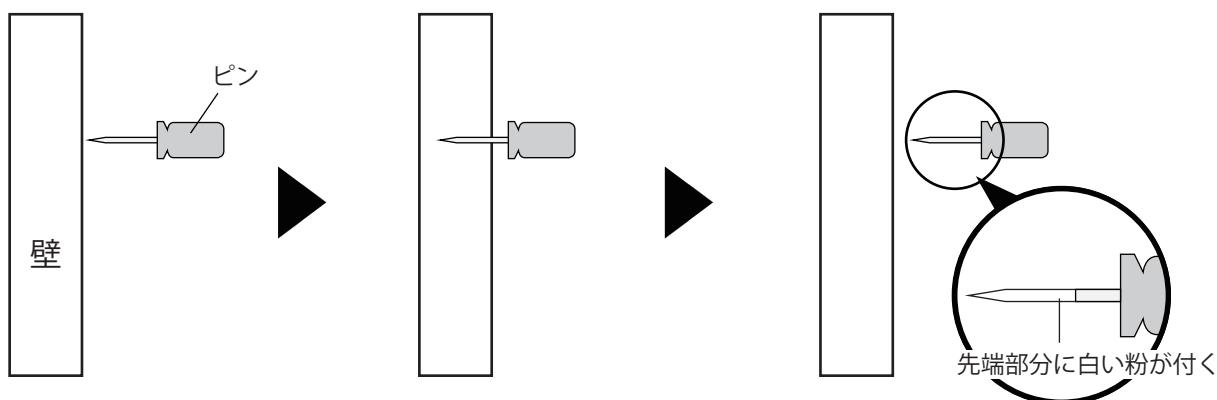
木材
(合板/コンパネ)

※石膏ボードの厚みが12mm未満で、石膏ボード内部に間柱や下地がある壁の場合も、針が最後まで刺さらないため使用できません。

【石膏ボードの確認方法】

石膏ボードとは、石膏をしん材とし両面を石膏ボード用原紙で被覆成型した建築用内装材料です。

1. ピンを壁に刺して確認する(イラストはイメージです)



図のように目立たない場所にピンを刺してみます。

ピンが刺さらない場合は、コンクリート壁や木壁にクロスを貼っている可能性があります。

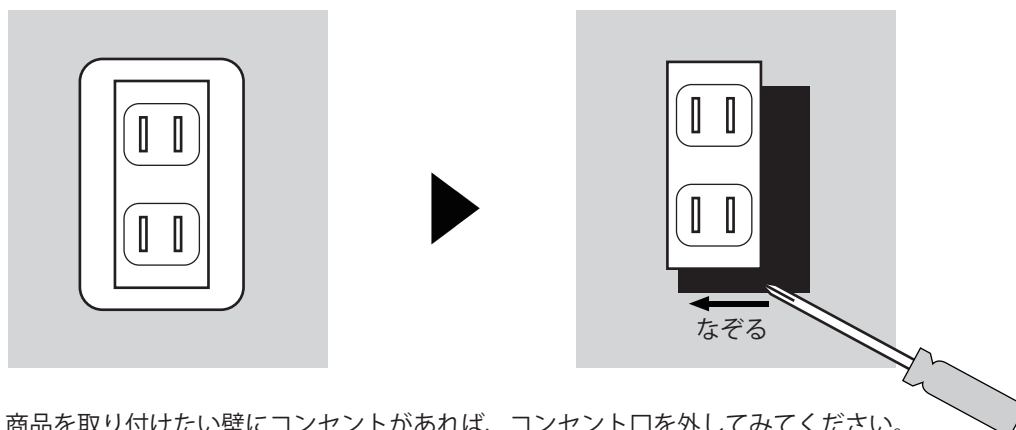
ピンが刺さった場合は、ピンの先を確認してください。

ピンの先に白い粉が付いていた場合、石膏ボード壁となります。

白い粉が付いていない場合は、ベニア板のような薄い木壁の可能性があります。

※壁にピンの穴をあけたくない場合は、下記「2. コンセントの穴を確認する」をお試しください。

2. コンセントの穴を確認する(イラストはイメージです)



商品を取り付けたい壁にコンセントがあれば、コンセント口を外してみてください。

コンセント口を外すと壁の断面を見る事が出来ますので、ドライバー等で壁をなぞります。

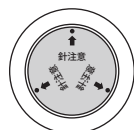
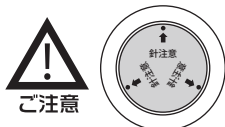
白い粉が削れて、付くようなら石膏ボードの壁となります。

※ 安全のため確認するコンセントの電源回路ブレーカーを OFF にしてから作業してください。

取付けを始める前にもう一度チェック！

- ✓ 製品に不備はないかどうか、破損などの不良箇所は無いかどうか。
- ✓ 取付けを予定している壁の状態を確認してください。
プッシュピンは石膏ボード専用商品です。コンクリート、間柱、補強壁等の固い素材の場合はお取付けできません。
- ✓ 石膏ボードの厚みが12mm未満で、石膏ボード内部に間柱や下地がある壁の場合も、針が最後まで刺さらないため使用できません。

Step1. プッシュピンの取り付け方



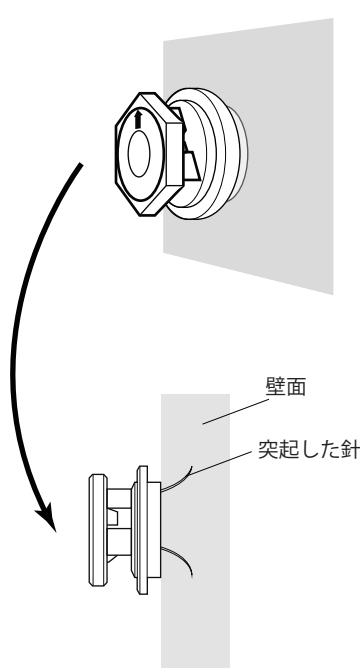
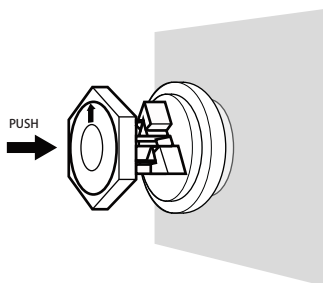
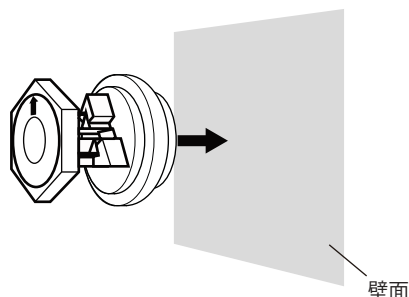
針が突起する面は怪我をする恐れがあるので、触らない様注意して作業をして下さい。

始めにプッシュピンに付いている紙のストッパーを外します。

1. 壁にプッシュピンを当てます。
この時プッシュピンの矢印が↑の方を上にします。

2. 「ここを押す」を少し力を入れて押します。

3. 押していくと壁の中で3本の針が放射状に伸びていきます。
真横から見て針が見えなくなるまで押します。



プッシュピンの針は、最後までしっかりと刺し込んでください。

針が最後まで刺さらない場合や、無理に刺して針が折れ曲ってしまった場合は、プッシュピンが使用できない壁である可能性があります。
その際は、設置場所を変更するか、本製品の使用を中止してください。



針が見えておらず、最後まで刺さっている。



針が見えており、これ以上刺さらない。

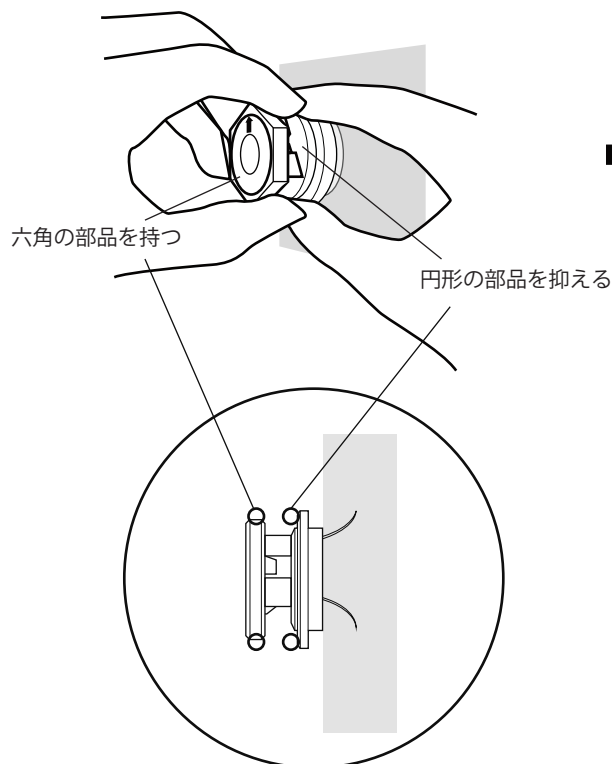


ピンがアクリルパネルの穴に向かって斜めに刺さっており底面が壁に密着していない。

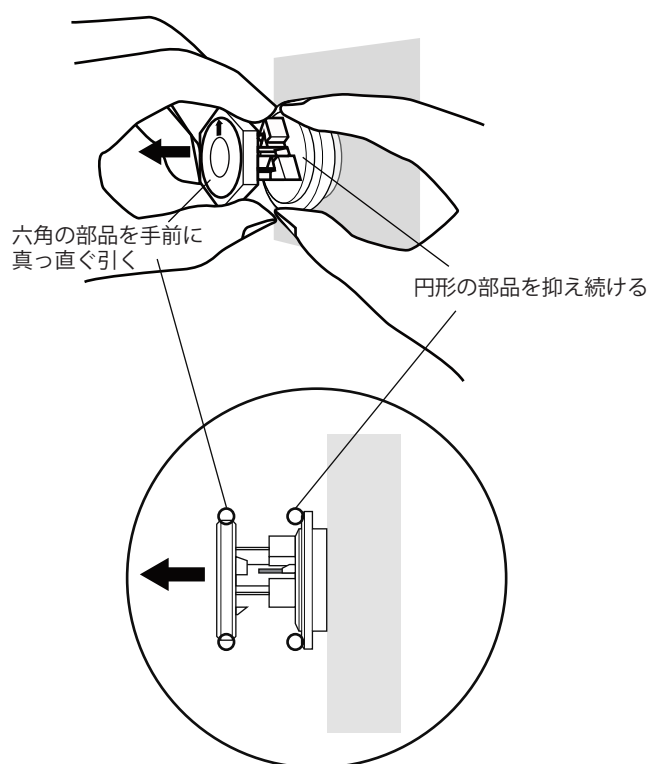
Step2. プッシュピンの外し方

設置に失敗した場合や、移動させる場合は、下図を参考にプッシュピンを取り外します。

1. まず、片方の手で円形の部品を抑えて、もう一方の手で六角の部品を持ちます。



2. 円形の部品を抑えながら、六角の部品を手前に真っ直ぐ引くと針が戻ります。完全に針が戻ったら外せます。



ご注意

無理に引き抜いたり、引き抜く力の方向が正しくないと、壁の破損や怪我の原因になりますのでご注意ください。

Step3. 最終確認

プッシュピンの緩み、ガタがないかを確認してください。

緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタや、違和感があつた際には取り付けを中止してください。この確認作業は定期的に（3ヶ月～半年に1回程度）実施し、問題なく使用できていることを確認してください。経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

免責事項

- 本取扱説明書に記載されている警告・注意事項や禁止事項を遵守しない不適切な使用、取り付け不備、お客様による商品の改造などによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失、壁面のネジ穴跡や変色など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区枳形 2-1-17 岩本ビル 4F

TEL : 044-455-4728 MAIL : info@emotions.co.jp